

広報戦略部による地域の方へのアンケート調査が行われました！

令和4年11月12日(土)に高知市内で広報戦略部による地域の方へのアンケート調査が行われ、広報編集部で取材に伺ってきました。

広報戦略部では、地域及び関連他職種に対する作業療法の啓発などの活動をされています。今回のアンケート調査について、広報戦略部部長の佐野秀平氏（海辺の杜ホスピタル）からは、「今回はコロナ禍で行えていなかった屋外でのイベントを久しぶりに企画し、作業療法の広報、エコバッグやペンなどの士会グッズの配布、地域の方へ“作業療法の知名度に関するアンケート”を実施しました。地域の方の声やアンケートの結果を参考に、より良い啓発活動が行えるよう検討していきます。」と意気込みをお話いただきました。

イベント場所は、中央公園前の帯屋町アーケードと金高堂書店 本店前の2か所で行われ、休日で天気も良いこともあり、友人や家族連れなど多くの方が歩かれていました。帯屋町アーケードでは歩かれている方へ声を掛けて、金高堂書店前では机と椅子を設置し、ご高齢の方などにお話を伺いながらアンケートを実施していました。実際にアンケートを実施した戦略部の方からは、「以前より作業療法士の知名度は高まっています」と地域の方々の声を教えていただきました。

私自身、所属施設で対象者の方々に関わる中で、生活様式や暮らされている地域の資源によってニーズが異なり、また、近年の新型コロナウイルスの影響により、活動や参加に消極的になられる方が増えてきたと感じています。作業療法の啓発をするためには、実際に地域の方の声を聞き、今の時代や地域の方のニーズに合わせた啓発をしていくことが重要だと思いました。



左:西内氏 中:佐野氏 右:市川氏



左:浅川会長 右:山下氏

取材者：森 祐輔（だいいちリハビリテーション病院）